

事業概要

地域医療の支援に意欲を持つ医師経験5年以上の医師を都職員として採用し、東京都地域医療支援ドクターとして、医師不足が深刻な市町村公立病院等に一定期間派遣
派遣期間(支援勤務)以外は、専門医・指導医等へのキャリアパスを実現できるよう、本人の希望に応じて、都立病院等において専門研修を実施

【実施年度】 平成21年度から実施

【募集診療科等】 小児医療、周産期医療(産科・新生児科)、救急診療(内科・外科等)、へき地医療(総合・内科・外科等)

【勤務内容～支援勤務と専門研修のローテーション勤務～】

6年間の勤務形態	支援勤務	派遣先	へき地の公立医療機関 周産期、小児、救急医療等の医師不足が深刻な地域の市町村公立病院
		派遣期間	1派遣期間につき、原則1年
		身分	自治法派遣(都職員と派遣先市町村職員又は公立病院組合の身分を併任)【※1】
		処遇	給与等は派遣先市町村又は公立病院組合より都に準じた額を支給 他に、派遣手当(1万円/勤務1日)を支給(採用後6年間)
	専門研修	研修先	都立施設、都立病院などの都関係施設 都立施設、都関係施設以外の都内の臨床研修指定病院(通算1年以内)
		研修期間	支援勤務1年につき2年以内 (ただし、専門研修4年につき通算3ヶ月程度、臨時派遣【※2】に従事)
		身分	都職員
		処遇	給与等は都の規定により支給(常勤医師) 研究研修費(約53万円上限/年)

【※1】地方自治法第252条の17 【※2】へき地医療機関への代診等

【募集対象医師】 採用予定日現在、医師法による医師の免許を取得後、通算5年以上医療に従事しており、満60歳未満で医師として診療業務が可能な者。

【勤務イメージ】

6年間の勤務イメージ					
1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目
支援勤務	専門研修	専門研修	支援勤務	専門研修	専門研修

令和5年度派遣について

1 当年度(令和4年度) 派遣状況

(1) 町田市民病院	小児科	1名(平成31年度採用)
(2) 公立昭和病院	救急科	2名(平成29年度採用、新規採用)
(3) 日野市立病院	内科	1名(令和3年度採用)
(4) 青梅市立総合病院	救急科	1名(平成30年度採用)
	小児科	1名(新規採用)
(5) 奥多摩病院	内科	1名(令和3年度採用)

2 令和5年度 医師派遣希望の状況

【令和5年4月より支援ドクターの派遣を希望した医療機関数と医師数】
8医療機関 22名(自治医科大学卒業医等により別途確保した数を除く)

3 令和5年度採用 募集・応募状況

- (1) 募集期間 (一次)令和4年6月1日から8月1日まで【延長9月16日まで】
(二次)令和4年10月19日から11月4日まで
- (2) 応募者 4名
- (3) 採用結果 内定者 3名(以下、応募時の状況)
⇒ 1名辞退により2名採用予定
- ・30歳・男性 平成29年医師免許取得 都立病院(三次)
 - ・33歳・男性 平成30年医師免許取得 都立病院(二次)

4 令和5年度在籍予定数

13名(支援勤務 5名 専門研修 8名)

5 令和5年度派遣計画(案)

(1) 公立昭和病院	救急科	1名(平成29年度採用)
(2) 青梅市立総合病院	産婦人科	1名(令和2年度採用)
(3) 公立阿伎留医療センター	小児科	1名(新規採用)
(4) 奥多摩病院	内科	1名(平成30年度採用)
(5) 御蔵島診療所	内科	1名(新規採用)